



2023年度 第一号

○東部普及指導係、農業推進係

〒527-8511 東近江市八日市緑町7-23

TEL 0748 (22) 7727・7728

FAX 0748 (22) 1234

○西部普及指導係

〒521-1301 近江八幡市安土町大中516

TEL 0748 (46) 6504

FAX 0748 (46) 7411

人・農地の未来を考える「地域計画」を作成しましょう！

これまで、集落等での話し合いにより人・農地プランを作成し、その実践をしてきていただきましたが、今後、さらなる農業者の減少や高齢化、耕作放棄地の拡大により、農地が適切に利用されなくなることが懸念されます。そこで、農地を次の世代に確実に引き継いでいくため、集落等であらためて農地の利用について話し合ってください、農地の効率的・効果的な利用等に向けた取組計画を示す『地域計画』の作成を進めましょう。

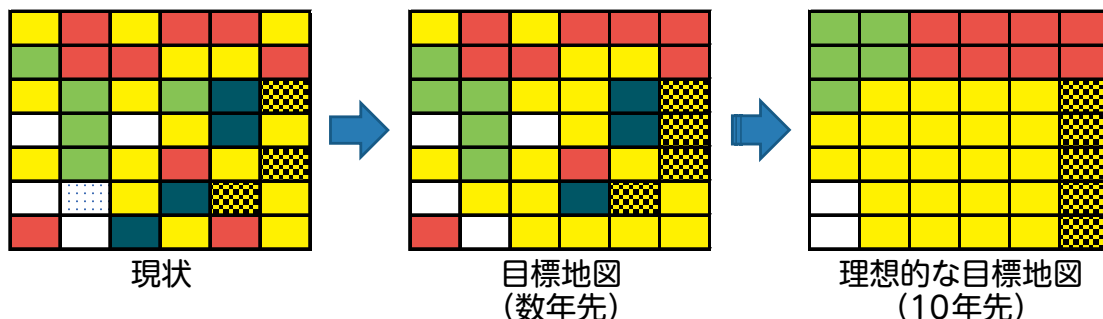
地域計画とは？

集落等での話し合いにより目指すべき将来の農業のあり方と農地利用の姿を明確にした計画のことです。従来の人・農地プランに、農地一筆ごとに将来利用する農業者を示した地図(「目標地図」といいます)が追加されるイメージです。

地域計画 = 地域農業の将来の在り方 + 目標地図

目標地図の作成

アンケート等で把握した農業者の意向を踏まえつつ、農地の効率的・効果的な利用に向けた実現可能な目標地図を作成しましょう。なお、今後の農地の貸借は、目標地図に基づいて行われることとなります。



P2 近江米新品種「きらみずき」令和5年にプレデビュー！

P3 おいしいナシをつくりませんか！？

P4 日野菜G I 登録・しがの農業経営支援センター紹介

近江米新品種「きらみずき」プレデビュー！

近年、出穂期以降の台風や長雨、登熟期の高温等により収量や品質の低下が問題となっています。県は、これらの課題を解決するため、近江米新品種「きらみずき」を育成し、県内で試験栽培に取り組んできました。令和6年度の本格デビューに向け、プレデビュー一年となる今年度は県内約55haで作付けが始まりました。

「きらみずき」はどんな品種？

きらみずき

滋賀県産近江米

#みらいにつなぐ近江米



開発ストーリーはこちら！



草丈が低く、耐倒伏性に優れる！

- ・ 中生の晩熟期（成熟期は「日本晴」とほぼ同じ）
- ・ 収量や玄米外観品質、耐倒伏性、高温登熟性に優れる
→ 台風や高温条件下でも安定した生産が可能です！
- ・ 食味は「コシヒカリ」と同等以上
→ 粒が大きく、しっかりとした食感とすっきりした甘さが特徴的です！

「きらみずき」の栽培方法

①または②の条件で栽培され、「滋賀県環境こだわり農産物」の認証を受けたもの

①「化学肥料や殺虫・殺菌剤（化学合成農薬）不使用」

②「オーガニック栽培（有機JAS認証を受けたもの）」

「きらみずき」の栽培方法は、環境こだわり栽培よりもさらに化学肥料・農薬を削減したものに限定しています。近年、持続可能な農業の実現が求められています。このような流れの中、「きらみずき」は近江米ブランドをけん引する品種を目指します。

令和5年産の東近江地域の取組は？

東近江地域では生産者39名が、県内作付面積の半分以上となる約30haで栽培されています。

当課では、JAをはじめ関係機関と連携し、東近江地域での栽培方法を確立するため、実証ほで調査を行っています。また、現地巡回を行うとともに、研修会の開催や栽培技術に関する情報を発信しています。

あわせて、「きらみずき」のオーガニック栽培に対し、施肥体系の提案や雑草防除技術の支援を行っています。

今後の活動について

令和6年産「きらみずき」のさらなる生産拡大に向けて、新規栽培希望者に向けた説明会などを10月頃に開催する予定です。令和6年産「きらみずき」の栽培を希望される方、興味のある方はご参加ください。



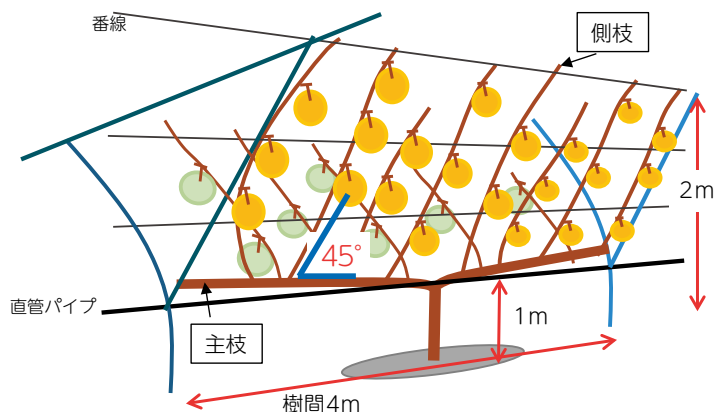
おいしいナシをつくりませんか!?



果樹栽培は、果樹棚などの初期投資が高く初収穫まで年数がかかるため、栽培開始のハードルが高いイメージがあると思います。しかし、ナシにおいては、「簡易棚による低樹高栽培」が開発され、栽培が始めやすくなりました。

低樹高栽培

Y字型の果樹棚で栽培する技術です。主枝の高さを低くして樹の育成期間を短くすることで、植栽後3年目に初収穫、5年目には成園化が可能です。また、果実の成る位置は胸から顔の高さなので、上向き作業が少なくなり、従来の栽培と比べて作業が早くかつ楽にできます。



簡易棚

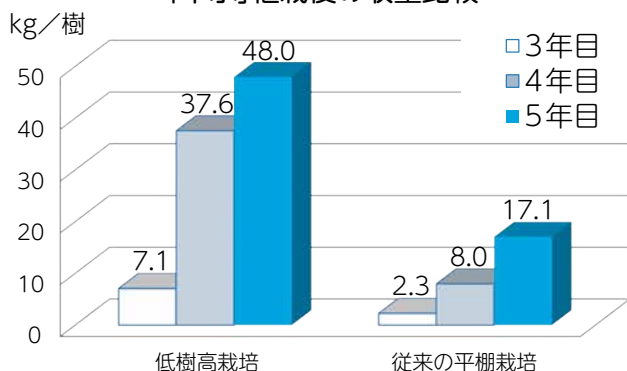
県では、曲げた直管パイプを連結し、組み立てることで自作が可能な低コスト簡易棚を開発しました。小面積から設置することができ、後から増設することもできます。

東近江管内ではこの2つの技術でナシ栽培を始められる方が増えつつあります。皆さんも、ナシ栽培にチャレンジしてみませんか？

興味のある方は、当普及指導センターにお問い合わせください！



「幸水」植栽後の収量比較



簡易棚建設にかかる主な資材(10aあたり)

直管パイプ(5.5m、Φ25mm)	744本
外ジョイント(曲げ角90°)	153個
ユニバーサルジョイント	102組
クロスワン	918個
トップクロスワン	153個
エスター線(#12、1000m/巻)	3巻

「近江日野産日野菜」がGI(地理的表示保護制度)に登録

令和4年10月21日、「近江日野産日野菜」が、GI(地理的表示保護制度)に登録されました。現在、全国で約120品目が登録され、県内では「近江牛」「伊吹そば」「滋賀の清酒」に続く4例目です。

当課は、GI登録をきっかけとする「近江日野産日野菜」の栽培面積の拡大や加工品等の販路拡大による産地の活性化を支援しています。

特に、GI登録に必要なエビデンス(科学的根拠)資料の作成については、「近江日野産日野菜」の特徴である根の赤色に着目し、その着色程度を「比色計」で測定し、根拠資料のデータ化に取り組みました。

また、GI登録時には、生産者、日野町役場やJAの職員を対象とした「GI制度研修会」をそれぞれに開催し、栽培方法の統一を図るとともに、「近江日野産日野菜」の生産拡大への気運を高めました。

GI登録はゴールではなく、「近江日野産日野菜」の生産拡大のスタートとして関係機関一丸となって推進していきます。



農業経営について専門家に相談してみませんか？

当課は昨年度から、「しがの農業経営支援センター(旧しがの農業経営相談所)」を設置し、経営改善を目指す農業経営体を支援しています。

お申しいただいた方には経営診断とともに、それぞれが抱える農業経営課題に応じた様々な分野の専門家(中小企業診断士、税理士など)を派遣します(無料)。



相談事例

①法人化(税理士・中小企業診断士等)

- ・法人化すべきか(メリット・デメリット)
- ・登記手続をどうしたらよいか
- ・法人へ移行する際の注意点は何か

②経営改善(中小企業診断士等)

- ・現在の経営状況を知りたい
- ・作業を効率化し生産性を向上したい
- ・中期計画の立て方を教えてほしい

③雇用・労務(社会保険労務士等)

- ・就業規則の作成の仕方について知りたい
- ・社会保険制度を整備したい
- ・従業員の満足度を高め、定着させたい

④経営継承(税理士・中小企業診断士等)

- ・継承の流れ・注意点がわからない
- ・継承にあたり法人化すべきか
- ・第三者継承する際の注意点は何か

(注)相談内容によってはアドバイザーを派遣できない場合があります。

2023年度 第一号 発行 東近江農業農村振興事務所農産普及課 発行責任者 西村 誠